

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **私道整備事業補助金**

[0272]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>一般の通行に供されている私道</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>私道利用者が、安全で快適に利用できる環境を確保する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>一般の通行に供されている私道の整備で、自治会が行う整備事業(舗装、側溝、砂利敷等)について、市が定める基準額の2分に1以内を補助する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	一般の通行に供されている私道延長	km	1.71	1.71	1.71	1.71
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	0	0	0	0
活動指標2	申請件数	件	0	0	0	0
成果指標1	実施延長	km	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	837	836	830	833
総事業費 (A) + (B)		千円	837	836	830	833

費用内訳	
21年度	<p>砂利敷延長 505m √V=53m³ 自治会内調整不調により事業中止となった。</p>

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	一般に利用されている私道について、利用者が安全で快適に利用出来るよう自治会が行う整備について当初 2/3 を助成しておりましたが平成 14 年度より 1/2 となっております。
--------	--	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

一般の交通に供されていることから、一定の助成は必要。

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

実施延長が小さい為。

(3) 計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

申請した自治会での事業が中止となった為。

(4) 成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

事業未実施の為。

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

既に助成額の見直しを実施した。